

裏面税務調査が来たら・・・10の心得

民商ニュース

2023年
9月11日

新津民主商工会 新潟市秋葉区岡田九四

TEL (0250) 231-2353
FAX (0250) 231-5544



のぶちゃん

俺も久しぶりだが、
ニュースも久しぶり？
でも物騒なニュースだな？

税務調査、遡りに抗議！阻止させる！

先ごろ、秋葉区の会員の建設業者(法人)に税務調査が入りました。事前通知で「2日間来ます」「3年間の調査」などの通知があり、帳簿等を準備。前日に担当署員が変わる通知があったものの、日時通りに調査を開始しました。飲食代の経費否認と少額工事の売上漏れ3年間のうち、各年1件などを指摘されました。

調査の中で税務署員は「この売上記帳漏れは7年間遡るケースだ、他にもあると思うので2日間の調査では終わらない、帳簿等を持ち帰らせて」と言い、また「すると会員は「7年間遡るほど重大な記帳ミスなの？1年に1件ずつの売上漏れで？隠していない、請求書等を提示してはいるではないか、単なる記帳漏れだ、7年遡りは納得できない。他でもそう言っているの？」と聞き返した。税務署員は「そんなことはありません」などと答え、会員業者は「それなら持ち帰りはお断り。提示している期間で調査は終了にして下さい」と言いました。税務署員は「上司に聞かないと翌日の回答」と言い帰りました。すると、翌日に「提示された期間で終了します」という回答があり調査は終了しました。

会員は「民商のアドバイスがなければ、帳簿を渡したかもしれない。税務踏査の10の心得も大事だ」と話していました。

インボイス増税だ！インボイスは白紙に！

縫製業の会員が、消費税を一般課税から簡易課税に変更したいという話がありました。

理由は、「経費の大半が外注費で、外注に高齢者が多く、インボイスの話をすると『辞める』と言われた。インボイスの登録をしろと言えない。簡易にすると、数万円の増税になるが・・・」

会員は「インボイスのせいで、課税業者でも増税の道を選ばなければならぬのか？中止しろ！白紙にしろ！」と話していました。

猛暑と物価高騰、そしてインボイスで客が減少？

飲食店の会員が、「今年は祭りが復活して、雨も少ない、この夏は喉を潤しに『生』で一杯と思って来るお客さんと、コロナ禍で休んでいたお客さんも来るかなと思っていたら、夜に熱風が吹くような厳しい猛暑が続き、夜の街はガラガラ、売上も思ったほどにならないし、酒などの仕入れ、光熱料が上がり、利益も出ない」と話していました。

「接待で来るお客さんにインボイス登録するのと聞かれたが、9割以上が個人客なのでインボイスは登録しないと旨った、これで客が減るかも」話していました。

運転代行業の会員も「インボイスの登録をしないともう乗らないよと言われた、どうしたらいいの？」と話していました。「二万円未満は要らないよ」とアドバイス。しかし、「俺の説明で、客は納得するのか」と話していました。

知り合いの業者を紹介してください！

インボイスの登録で悩んでいる
税務調査で悩んでいる

帳簿・記帳のサポート
労働保険に加入したい など・・・